

神に献げる豊かな心

ルカによる福音書二一章一〜4節

この貧しいやもめは、誰よりもたくさん入れた。あの金持ちたちは皆、有り余る中から献金したが、この人は、乏しい中から持っている生活費を全部入れたからである。(3、4)

ある貧しいやもめが、生活費の全てと言われるレプトン銅貨二枚を献げました。それをご覧になったイエスは、彼女の献げた額にはなくその心に目を留められ、今日の聖句を語られました。私たちは彼女の行為以前に、そのような極限の貧しさの中で、神に献げものをしようとする心が残っていたことを驚くべきでしょう。自分の生活が脅かされそうになるとき、私たちはまず自分の生活費だけは確保しようと考えます。だからこそ、貧しい中であえて献げものを続ける彼女の姿は特別な光を放っています。彼女の行為は、自分の持ち物の全ては神から与えられた賜物であり、生活の全ては神によって支えられているという心からの信頼と感謝を表すものでした。生活は貧しくとも、神に対する感謝の思いは実に豊かであり続けたのです。私たちもこの豊かな心を育てていきたいものです。